

施策評価調書(29年度実績)

施策コード - 5 - (5)

政策体系	施策名	健全な食生活と地域の食をはぐくむ食育の推進	所管部局名	生活環境部	長期総合計画頁	65
	政策名	安全・安心を実感できる暮らしの確立	関係部局名	生活環境部、福祉保健部、農林水産部、教育庁		

【 . 主な取り組み】

取組			
取組項目	健全な食生活を実現できる県民の育成	魅力あふれる「地域の食」づくり	食育の普及啓発

【 . 目標指標】

指 標	関連する 取組	基準値		29年度			31年度	36年度	目標達成度(%)					
		年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	目標値	25	50	75	100	125	
朝食を毎日食べる児童生徒の割合(小5)(%)		H26	90.0	91.5	90.3	98.7%	92.5	95.0						

【 . 指標による評価】

評価	理 由 等	平均評価
概ね達成	栄養教諭が中心となって朝食の果たす役割を発達段階に応じて指導するとともに、給食だよりや給食試食会等を通じて保護者への周知啓発を図ったことにより、目標値を概ね達成した。	概ね達成

【 . 指標以外の観点からの評価】

取組	指標以外の観点からの評価
	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養教諭や学校栄養職員が、給食時間をはじめ授業等の教育活動全体で児童生徒に対し、「朝食の重要性」や「バランスのよい食事」等の食育指導を行った。 ・小学校で栄養教諭等が使用する小学生向けの食育の副読本を作成し、学校で食育に関する授業等を実施しやすい環境を支援した。 ・「簡単朝ごはん」等の親子料理教室を開催し、レシピを保護者に配布するなど、家庭での実践を呼びかけた。また、全ての児童に健康的な生活習慣を身につけさせるため、バランスのとれた食事などを掲載したチラシを配布した。家庭と連携した取組を推進したことにより、朝食に対する意識の向上が図られた。
	<ul style="list-style-type: none"> ・安心おおいた直売所の認証が99カ所に達するとともに、直売所の新商品開発等を支援することにより、食の安全を消費者に届ける地域の拠点としての魅力と機能が向上した。
	<ul style="list-style-type: none"> ・大勢の人たちで食事を楽しむイベント「ロングテーブル」を、大分、竹田、宇佐、由布の4市で開催し、郷土料理を参加者で囲んで食べることで、地域の食材や郷土料理の魅力を再認識できた。更に、子どもと高齢者との世代を超えた交流を通して、コミュニケーションを図りながら一緒に食べる楽しさやおいしさを実感し、食育に対する理解が進んだ。 ・6月の「食育月間」と11月の「おおいた食育ウィーク」期間に大分駅前等で街頭啓発等を行い、広く県民に食育の普及啓発を行った。

【 . 施策を構成する主要事業】

取組	事業名(29年度事業)	事業コスト(千円)	事務事業評価		主要な施策の成果掲載頁
			総合評価	30年度の方向性	
	おおいたの食育推進事業	25,237	A	終了	108
	直売所魅力・機能向上事業	30,825	A	継続・見直し	212

【 . 施策に対する意見・提言】

<p>第1回大分県食育推進会議 (H29.7)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食育のPRについて、例えば、有名なユーチューバーに頼んで、動画をアップしてもらおうとか、ブロガーの有名な方にやってもらおうとか、発信力のあるフェイスブックで発信をしてもらおうなど、少し子ども寄りになったやり方も考えたら面白いと思う。 	<p>第2回大分県食育推進会議 (H29.11)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食育推進全国大会の2日間に、県民が朝食をできるだけ家族と食べるとか食事を一緒にするというかたちでプラスアルファをすると今後の取組としてつなげていけるんじゃないかと思う。 ・何か一つ、大分県全域で取り組めるような試みをしていただければありがたいなとは思っている。
---	---

【 . 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養教諭を中心とした朝食摂取に向けた取組を引き続き推進するとともに、児童生徒の健康づくりの基盤形成につながる食習慣の改善や運動習慣の定着を図る。 ・食育に係るこれまでの取組を総括する形で、若者や親子世代をターゲットに食育推進全国大会を開催し、その中で朝ごはん摂取の大切さを伝える。 ・食育推進全国大会PR動画を小学生を含め県民参加型で作成し、食文化の伝承を広く県民に啓発する。 ・小学校の教育現場の意見を取り入れて作成した食育の副読本が好評だったため、保育園・幼稚園児向けの紙芝居も制作する。 ・食育推進全国大会で培った食育関係者とのネットワークを活用し、食育人材バンクの講師を増やし、講師派遣や情報発信により、地域の特性を生かした食生活や伝統的な食文化の伝承と発展に取り組む。 ・産地からの情報発信強化に向けた直売所スタンプラリーの実施や新商品開発等の品揃え対策などを支援する。